

失敗しないための「家づくり価格ガイド」



家づくりの不安を解消し、理想の暮らしを描くためのステップ

2026.02.01 Edition

本ガイドの構成



なぜ家づくりの価格は分かりにくいのか

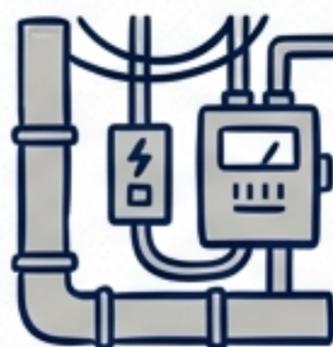
「総額」で見えにくい3つの構成要素を分解して理解する

本体工事費



- 建物そのものをつくる費用
- 床面積や基本仕様で決定

付帯工事・諸経費

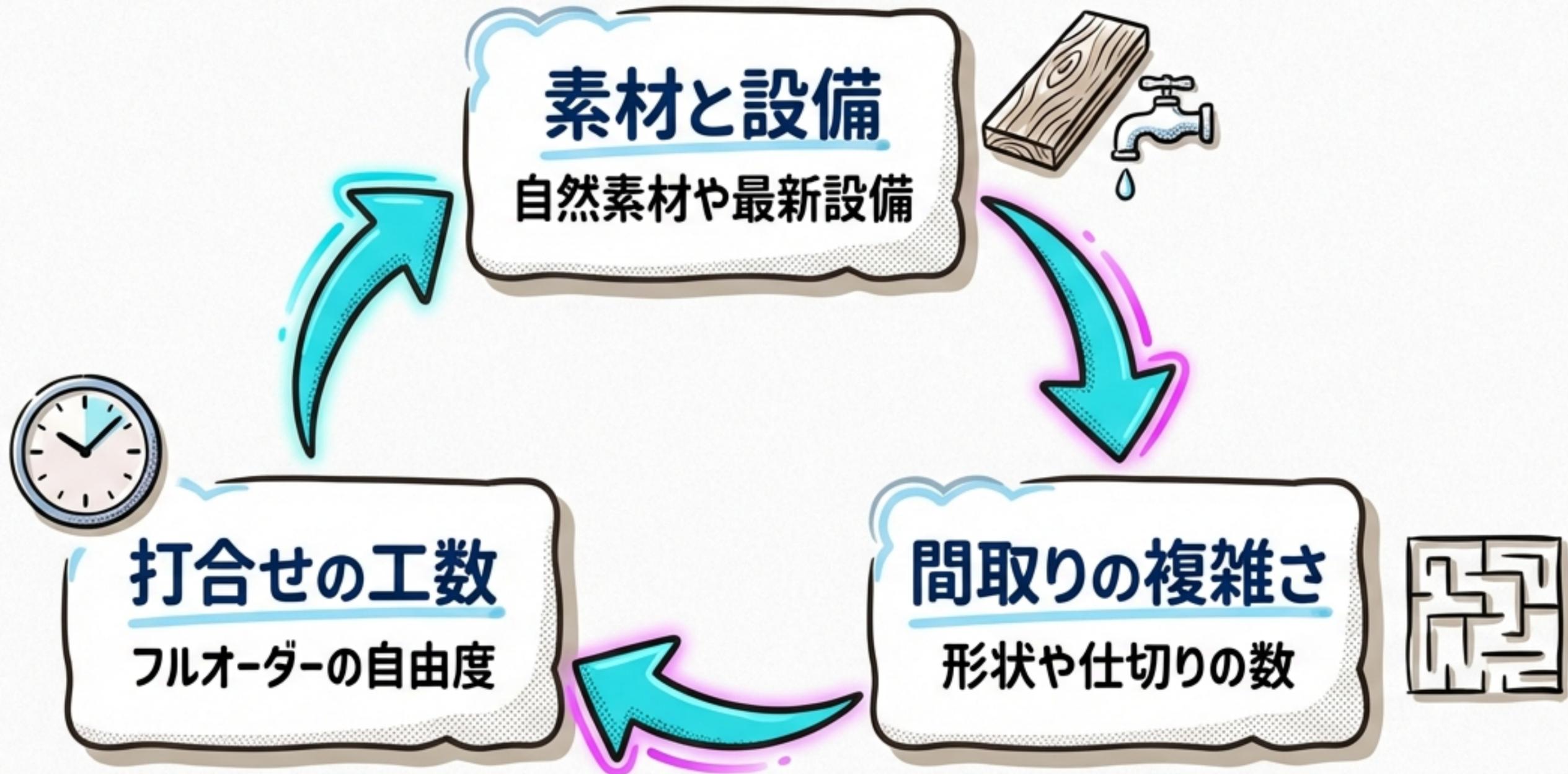


土地の条件
により
大きく変動?

- インフラ引き込みや外構費用
- 登記費用や火災保険などの税金

価格を左右する3つの要素

コストは「選択」の積み重ねによって変化します



私たちが大切にしている「価格の考え方」

目先の安さではなく、30年後の豊かさを見据えたご提案



30年

建物価格だけで判断しない

光熱費やメンテナンス費を含めたライフサイクルコストを重視し、住み始めてからの支出を抑える設計を行います



根拠のある透明な見積り

「なぜこの金額なのか」を明確にし、お客様が納得して選択できるような誠実な情報開示を徹底しています

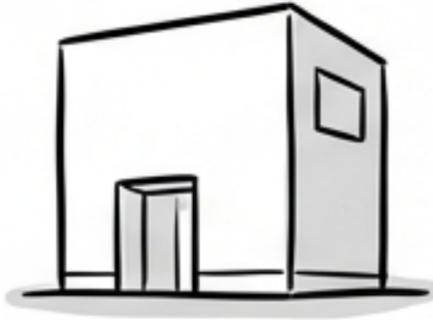


暮らしの質を落とさない工夫

予算が限られていても性能は妥協しません。設計の工夫で無駄を削ぎ落とし、本当に必要な価値に予算を集中させます

3つの価格帯別アプローチ

2,000万円前後



コストパフォーマンスを重視。無駄を省いたシンプルな暮らしを求める方に最適

2,500万円前後



一番人気のボリュームゾーン。素材や趣味の空間など、こだわりを1~2箇所反映可能

3,000万円~



唯一無二の邸宅。建築家との深い対話を通じて、最高品質の空間を追求したい方へ

価格帯別ガイド：2,000万円 vs 2,500万円

2,000万円前後

標準プランベース

コスト重視仕様

標準グレード

効率的な5~8回

設計の自由度

主要素材

住宅設備

打合せ回数

2,500万円前後

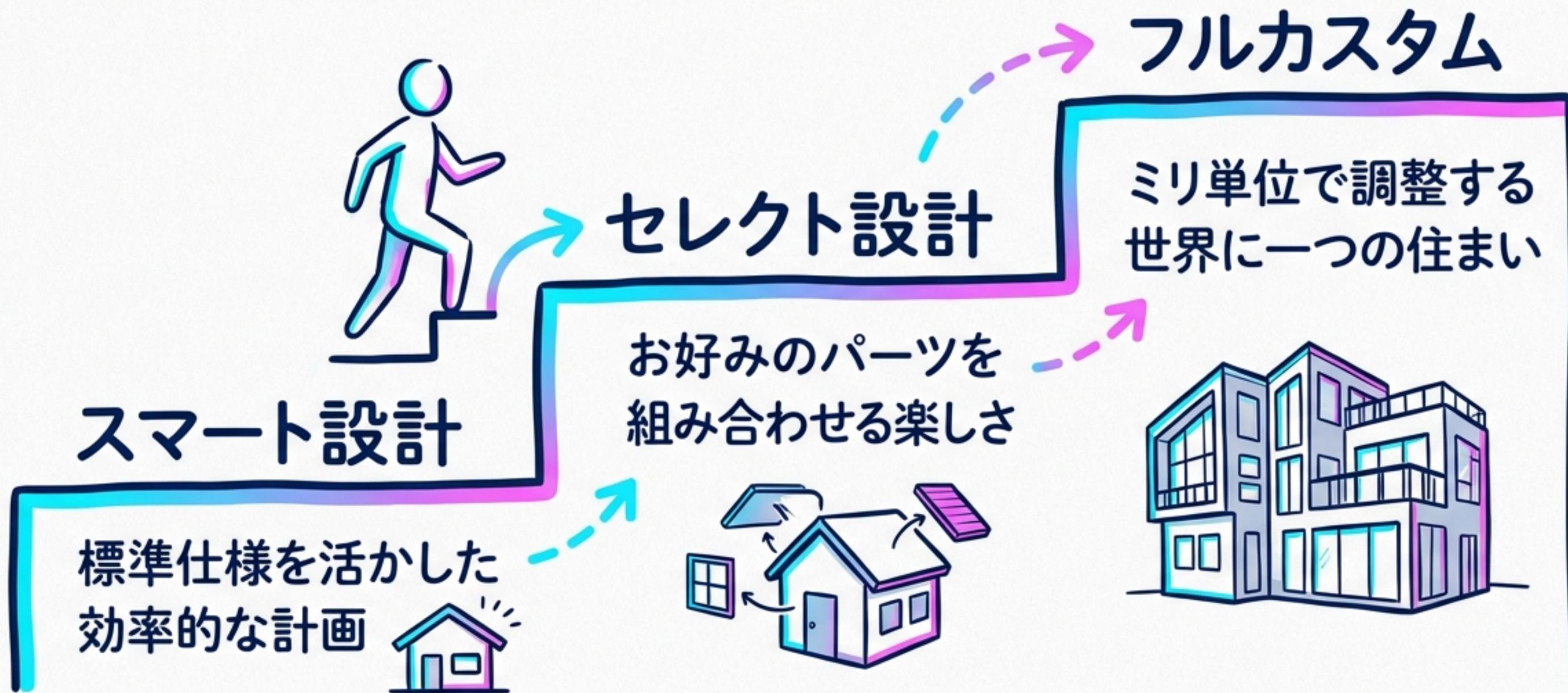
完全自由設計

自然素材・無垢材

ハイグレード選択可

納得の10回以上

価格と自由度の関係性



よくある質問・誤解

気になる疑問を解消して、前向きな一歩を

Q. 安くすると性能が落ちますか？

A. いいえ。断熱や耐震などの**基本性能は全棟共通**で、妥協しません。

Q. なぜ金額に幅が出るのですか？

A. 土地の傾斜や道路状況による工事費の差、設備の選択により変動するためです。

Q. 後から高くなることはありますか？

A. 契約前に詳細まで確定させるため、**追加のご要望**がない限り変動しません。

このガイドを公開した理由

家づくりの価格をオープンにすることは、お客様の不安を解消するだけでなく、お互いの信頼関係を築くための第一歩だと考えています。事前にお金の仕組みを理解していただくことで、貴重な打ち合わせ時間を「費用の話」ではなく「理想の暮らしの話」に充てることが可能になります。

— 名和建築 代表取締役





株式会社NAWA